

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-69	小学校	体育科	保健	5・6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	保健 501	新しい保健 5・6		

1. 編修の基本方針

豊かな学びが未来を拓く

子供たちが、生涯を通じて健康・安全で幸福に生きることが、私たちの願いです。そのためには、保健の見方・考え方を生かして、健康・安全について「何を知っているか」だけではなく、「知っていることを使ってどのように社会と関わり、よりよい人生を送るか」という視点から、知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学びに向かう力や人間性などを、総合的に育てていくことが求められています。

本教科書は、教育基本法の理念を踏まえ、保健における主体的・対話的で深い学びを実現し、未来を拓くために必要な資質・能力の育成を目指して編集しました。

＼特色／

1

主体的・対話的で
深い学びを
実現させる教科書

保健の授業が主体的・対話的で深い学びとなるように、紙面構成を工夫しました。

＼特色／

2

思考力・判断力・
表現力を育む教科書

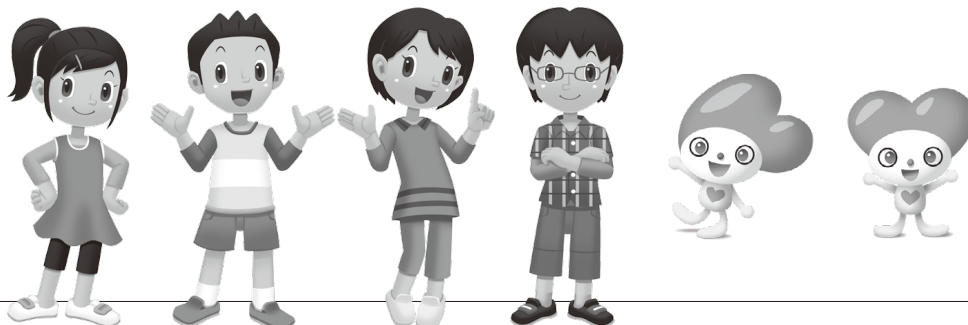
A4判を採用し、思考力・判断力・表現力を育む学習活動を豊富に設定しました。また、思考・判断したことを表現する記入欄を多く設けました。

＼特色／

3

学びの意欲が高まる
教科書

各項に設けた「資料」や、他教科との関連、デジタルコンテンツなど、児童の学習意欲を高める工夫を随所に設けました。



主体的・対話的で深い学びを実現させる教科書

問題解決的な授業を見える化し、保健の授業が主体的・対話的で深い学びとなるように、各項を「ステップ1」～「ステップ4」の学習活動から構成しました。

ステップ1

気づく・見つける

自分の健康課題を見つける活動

授業の導入として、自分の健康課題に気づいたり、見つけたりすることができるような、簡単な問いかけや活動を設けました。



(◀ p.29)

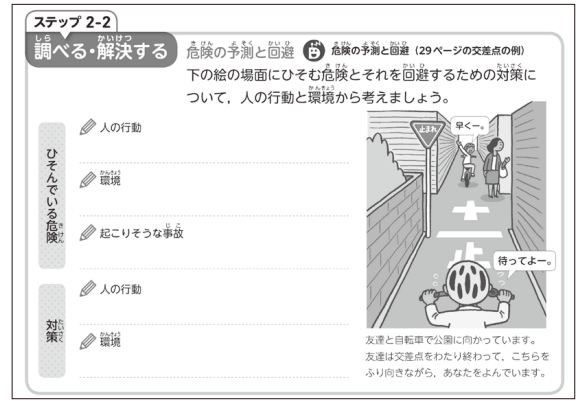
ステップ2

しらべ かいけつ 調べる・解決する

課題の解決に向けて、情報を収集し、調べたり、話し合ったりする活動

「学習の課題」を受けて、その課題を解決するために調べたり、話し合ったりする学習活動を設けました。

(▼ p.30)



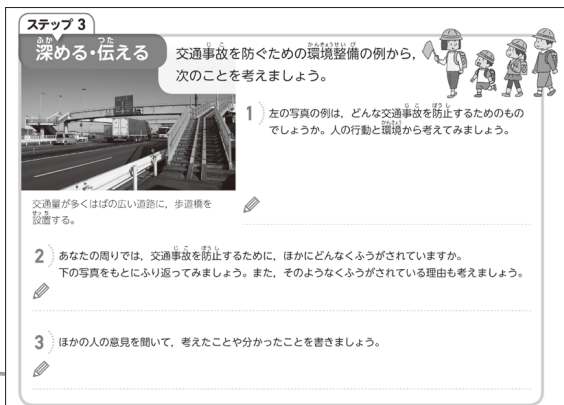
ステップ3

ふか った 深める・伝える

習得した知識をもとに考え、筋道を立てて表現する活動

ここまで学習したことをもとに、さらに考えたり、意見やその理由を相互に表現し合ったりする活動を設けました。主体的・対話的で深い学びの中心となる活動です。

(▼ p.31)



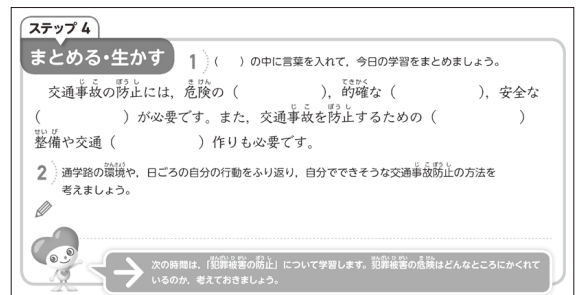
ステップ4

まとめる・生かす

学習したことをまとめ、自分の生活やこれからの学習に生かすための活動

授業の最後に、学習したことをまとめるとともに、自分の生活を見直したり、もっと調べたいことを考えたりして、生活に生かすための活動を設けました。

(▲ p.32)



2

思考力・判断力・表現力を育む教科書

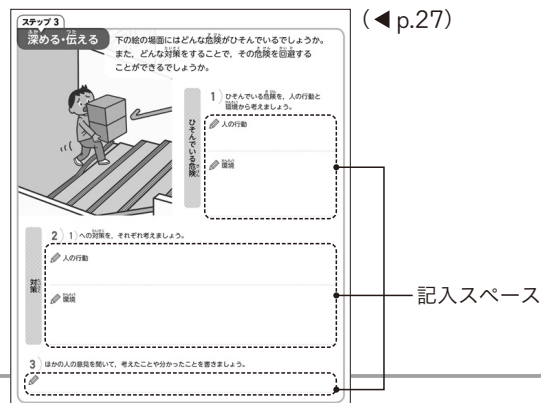
1 思考力・判断力・表現力を育む 具体的な活動を設定しました。

A4判のメリットを生かして、学習指導要領解説で具体的に例示された「健康課題を見つける」「解決方法を考え、伝え合う」などの学習活動を豊富に掲載しています。



2 A4判を採用し、記入スペースを多く確保しました。

ステップ1～ステップ4のそれぞれで、思考・判断したことを表現することができるようにしました。教科書をワークシートのように活用し、後で学びをふり返ることもできます。教科書の用紙は、書き込みがしやすく、かつ、軽量で丈夫な用紙を開発し、採用しています。



3

学びの意欲が高まる、資料性の高い教科書

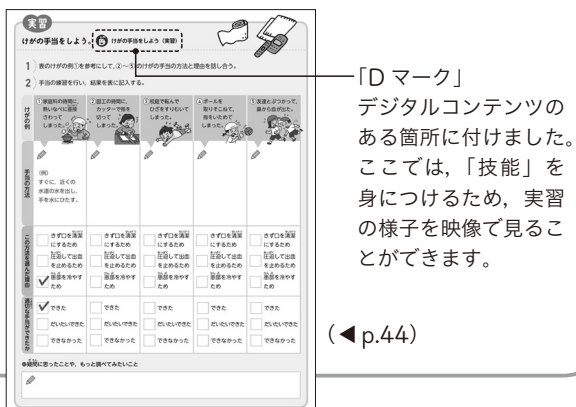
1 今日的な健康課題に対応した「資料」のページを充実させました。

各項末に、学習内容に関連した情報を、「資料」として掲載しました。児童が知りたい情報を豊富に掲載しています。



2 児童の学びを手助けする「Dマーク」コンテンツや、保健の「技能」の内容を充実させました。

児童の理解度を高めるために、デジタルコンテンツを豊富に用意しました。また、新たに保健の「技能」として示された「不安や悩みなどへの対処」「けがの手当」については、実習ページを設け、「Dマーク」コンテンツとの関連を図りました。



2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全の大切さや、学び方について触れ、健やかな身体を養うことの大切さについて理解できるようにしました。(第1号) 「この教科書の使い方」では、主体的に思考・判断・表現したり、仲間と話し合ったりしながら課題を解決していく学習について説明し、自主及び自律の精神を養うとともに、協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第2号, 第3号) 「健康や安全の情報を集めて、学習や生活に生かそう」では、健康や安全についての情報の入手の方法の例を取り上げ、健康や安全についての幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにしました。(第1号) 	<ul style="list-style-type: none"> 目次～1ページ 2ページ 3ページ
各章	<ul style="list-style-type: none"> 「章とびら」では、その章の目的や学習内容が端的にわかるようにするとともに、「つなげよう」で道徳など他の教科との関連を示し、幅広い知識と教養を身に付け、道徳心を培うことができるようにしました。(第1号) 本文や「資料」では、健康についての知識を端的に記載し、幅広い知識と教養を身に付け、健やかな身体を養うことができるようにしました。(第1号) 学習活動として、主体的に思考・判断・表現したり、仲間と話し合ったりしながら課題を解決していく学習を随所に設け、自主及び自律の精神を養うとともに、協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第2号, 第3号) 他教科との関連を随所に示し、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにしました。(第1号) 5年「心の健康」では、人との関わりや不安や悩みなどへの対処について考える中で、道徳心を培ったり、個人の価値を尊重したり、自他の生命を尊重したりする態度を養うことができるようにしました。(第1, 2, 4号) 5年「けがの防止」では、けがを防ぎ、命を守るためには地域の環境をどのように安全に整えたらよいかを考える中で、社会の形成に参画する態度、環境の保全に寄与する態度、郷土を愛する態度を養うことができるようにしました。(第3, 4, 5号) イラストで外国人を掲載し、他国を尊重する態度を養うことができるようにしました。(第5号) 「健康や安全を守る活動」では、地域では多くの人が健康や安全を守る仕事をしていることを取り上げ、勤労を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第2号) 	<ul style="list-style-type: none"> 4, 20, 48ページ 5～18, 21～46, 49～78ページ 5～18, 21～46, 49～78ページ 31, 35, 39, 51, 59, 65ページなど 4～18ページ 20～46ページ 7, 8, 21ページ 78ページ
巻末	<ul style="list-style-type: none"> 「どんな自分になりたいかな」では、健康や安全に関する資質・能力に触れ、幅広い知識を身に付け、健やかな身体を養ったり、生活との関連を重視する態度を養ったりすることができるようにしました。(第1, 2号) 	<ul style="list-style-type: none"> 80ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

すべての児童が使いやすく分かりやすい紙面の配慮と工夫

① 特別支援教育への配慮

- 文節改行(文節の切れ目で改行)を基本とし、文章を読み取りやすくすることで、文章の読解の段階でつまづくことがないように配慮しました。
- 「学習の進め方」を各項の冒頭で毎回示し、授業の見通しをもって学習ができるようにしました。
- 本文ページの各「ステップ」を枠で囲み、本文と活動のまとまりを区別しました。

② 人権上の配慮

- 固定的なイメージで性の区別をしないように、イラストや写真での男子・女子の表現などには細心の注意を払いました。

- ・活動場面では、男子・女子の比率やそれぞれの役割に偏りのないよう配慮しました。

③ユニバーサルデザインへの取り組み

- ・書体は、**独自に新開発したUD教科書体**を採用しました。このUD教科書体は、**従来の教科書体に比べてさらに太く、視認性をいっそう向上させています。**
- ・色覚の多様性に配慮し、**カラーユニバーサルデザイン**の観点から、配色およびデザインについて、全ページにわたって専門家による検証を行っています。

④造本上の工夫

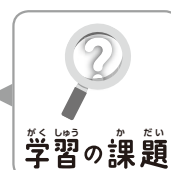
- ・**書き込みがしやすく、かつ、軽量で丈夫な用紙を開発し**、採用しました。教科書をワークシート的に活用できるようにするとともに、重量による身体的負担の軽減に配慮しました。



2 今日的課題への取り組み

⑤ご指導経験の浅い先生方への配慮

- ・各項をステップ1～ステップ4で構成し、**授業の流れをわかりやすく示しました。**
- ・主発問と児童の思考を促す補助発問とを効果的に配置し、**スモールステップ**で指導できるようにしました。
- ・「**学習の課題**」と授業のまとめ(「**ステップ4 まとめる・生かす**」)を各項に設定することで、各項で習得する知識が明確になるようにしました。



⑥評価への取り組み

- ・児童が**思考・判断したことを表現する記入欄**や、**学習をまとめる記入欄**、各章末の「学習をふり返ろう」の**自己評価欄や記入欄**など、先生方が評価をする際に手がかりとなる箇所を多く盛り込みました。



⑦道徳教育との関連

- ・章とびらの「**つなげよう**」で道徳科の各内容項目との関連を示し、道徳科との関連が図りやすいように配慮しました。



⑧カリキュラム・マネジメントへの取り組み

- ・養護教諭や栄養教諭、学校医などが紙面で登場する場面を随所に設け、**学校内外の人材の有効活用**に配慮しました。
- ・章とびらや、本文ページで**他教科との関連**を随所に示し、**教科横断的な指導**ができるように配慮しました。



⑨オリンピック・パラリンピック教育への取り組み

- ・「資料」でオリンピック・パラリンピックアスリートを取り上げ、児童のオリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が高まるように配慮しました。(12, 18ページ)
- ・ユニバーサルデザインや「**障がい者の健康作りや交流のための施設**」を取り上げ、オリンピック・パラリンピックを通じた障がい者理解や、多様性理解についても配慮しました。(28, 77ページ)
- ・運動やスポーツの意義や価値について、随所に取り上げました。(8, 14, 18, 59ページ)

3 そのほかの取り組み

⑩教育のICT化への取り組み

- ・動画やシミュレーションなど、児童の理解度を高めることをねらいとした**無料***のデジタルコンテンツを豊富に用意しました。コンテンツが用意されている箇所には「**Dマーク**」を配しています。タブレット端末やパソコンなど、端末を問わずに簡単に使用することができます。
※デジタルコンテンツを使用する際の通信費は自己負担となります。
- ・使用する際の留意事項(使用の際には、まず教師や保護者に相談すること)を明示し、情報モラルにも配慮しました。



編修趣意書

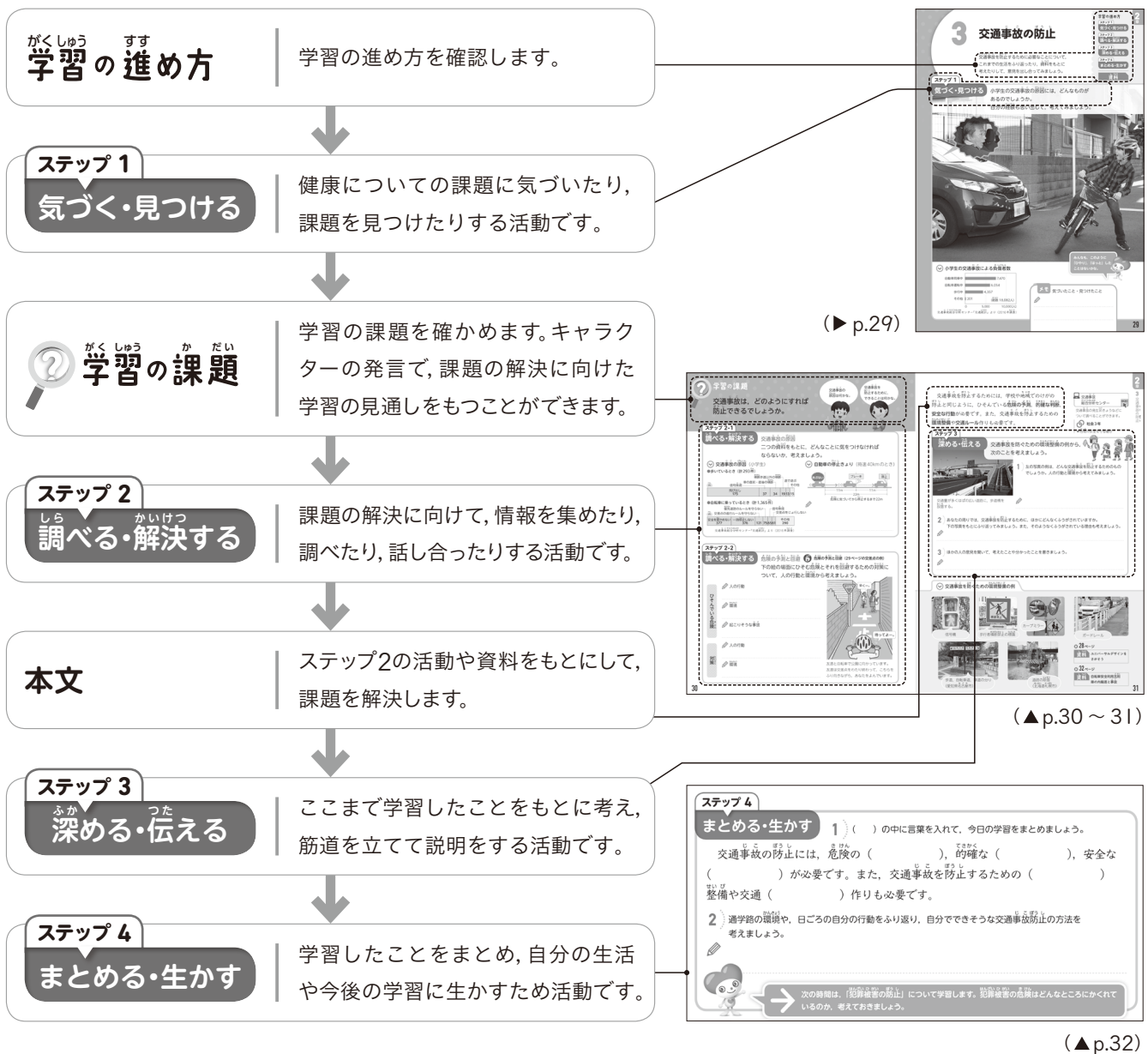
(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-69	小学校	体育科	保健	5・6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	保健 501	新しい保健 5・6		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 / 主体的・対話的で深い学びを実現させる教科書

新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」を保健の授業で実現するために、授業の流れをわかりやすく、紙面化しました。



A4判のメリットを生かし、新学習指導要領でいっそう重視されている「思考力、判断力、表現力等」を育む学習活動を充実させました。

ステップ1～**ステップ4**の学習の流れの中に、新学習指導要領解説で例示された「課題を見つける」「学習したことを活用して適切な方法を考える」「考えた方法を書いたり、発表したりして伝え合う。」などの活動を組み入れました。

課題を見つける



(▲p.49)



(▲p.21)

A4判のメリットを生かし、インパクトのある写真や、資料性の高い図版などから、課題を見つける活動に各項目ページを配し、児童の気づきを大切にしました。

学習したことを活用して適切な方法を考える



(▲p.15)



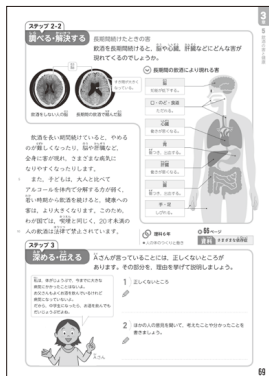
(▲p.28)

不安やなやみの例に応じて、自分にとって効果がありそうな方法を考えたり(p.15ステップ3)、学習したことをもとに自分の生活をふり返り、けがを防止する具体的な方法を考えたり(p.28ステップ4)することができるようにしました。

考えた方法を書いたり、説明したりして伝え合う



(▲p.27)



(▲p.69)

具体的な場面を例示して、ひそんでいる危険や、その危険を回避するための対策を考えたり(p.27ステップ3)、ケーススタディを用いて、理由を挙げて問題点を説明したり(p.69ステップ3)して、伝え合う活動を取り上げました。

2 A4判を生かして記入スペースを多く設け、ステップ1～ステップ4のそれぞれで思考・判断・表現したことを書き残し、学びをふり返ることができるようにしました。教科書の用紙は、書き込みしやすい紙を開発し、使用しています。

1 今日的な健康情報を扱う「資料」を各項に掲載しました。

- 児童が興味をもつ健康情報を扱いました。

タイトル	ページ
人との関わり	8
きん張を味方にする方法	12
自分の気持ちや考えを上手に伝えよう	17
ストレスカレンダーを作ろう	18
(読み物)水泳がわたしにくれたもの	18
小学生の事故	24
ユニバーサルデザインをさがそう	28
自転車安全利用五則	32
車の内輪差と事故	32
インターネットによる犯罪被害	36
安全マップを作ろう	37
さまざまな自然災害	40

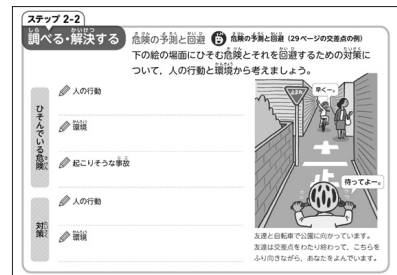
タイトル	ページ
熱中症の予防と手当	45
歯のけが	45
胸骨圧迫とAED	46
体のていこう力	52
エイズ	56
インフルエンザ・新型インフルエンザ	56
がんを予防しよう	62
たばこの主な有害物質	66
さまざまな依存症	66
喫煙や飲酒のさそいへの対処	70
医薬品の使い方	74

2 「IDマーク」コンテンツ (デジタルコンテンツ) を充実させました。

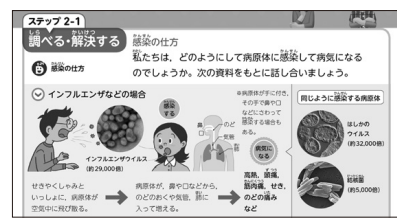
- 児童の学びを手助けする動画やシミュレーションなどのコンテンツを活用した学習ができるようにしました。

ID Dマーク コンテンツ

タイトル	ページ
【アニメーション動画】5年生ならどうするかな	6
【動画】リラックス状態を体験しよう(実習)	16
【シミュレーション】危険な場面をさがそう	21
【動画】危険の予測と回避(29ページの交差点の例)	30
【動画】車の内輪差	32
【動画】犯罪被害がが起こりやすい場所(33ページの公園の例)	35
【動画】さまざまな自然災害	40
【動画】けがの手当をしよう(実習)	44
【動画】感染の仕方	54
【実験動画】受動喫煙(実験)	65



(◀ p.30)



(◀ p.54)

3 保健の「技能」の内容を充実させました。

- 新たに保健の「技能」として示された「不安や悩みなどへの対処」「けがの手当」については実習ページを設け、実習を通じて技能を身につけることができるようにしました。
- 「不安や悩みなどへの対処」「けがの手当」それぞれに「Dマーク」コンテンツを用意しました。「技能」を映像で確認することができます。





(▲ p.16)



(▲ p.44)

観点別特色の一覧

<p>教育基本法の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●健康や安全についての、幅広い知識と教養を身に付け、健やかな身体を養うことができるようにするために、個人の価値の尊重や自主自律の精神、協力を重んずる態度を育みながら学習することができるように紙面を編集しました。(全体)
<p>学習指導要領の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校学習指導要領(総則)の基本方針である授業改善の推進を受けて、資質・能力の育成のための優れた研究や実践の成果をもとに紙面を編集しました。(全体) ●小学校学習指導要領(体育科)に示された目標に則り、保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することができるようにしました。(全体)
<p>内容・系統</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●保健の内容について系統性のある指導ができるように、マークを随所に設け、小学校の保健の他学年の内容と関連を図りました。(p.6, 50, 55, 59など) ●運動に関する内容を随所に積極的に取り上げ、運動領域との関連を図りました。(p.8, 14, 18など)
<p>組織・配列・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領の配列に合わせ、各学年の内容を配列しました。 ●各学年とも、学習指導要領に示された内容の所定配当時間数内での指導が可能なように構成しました。 ●基本的に1項目を1単位時間4ページで構成し、見通しをもって学習できるように配慮しました。例外的に2単位時間扱いとなる項については、項タイトルの近くに「(全2時間)」と明示し、1単位時間の区切りとなる箇所も明示しました。(p.57, 59)
<p>知識・技能の習得への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎的・基本的な知識は本文で簡潔にまとめました。本文のなかで特に大切な部分はゴチック体としました。 ●各項の「ステップ4」では、学習した内容をまとめる活動を取り入れました。 ●章末の「学習をふり返ろう」では、理解の程度を自己チェックしながら、学習内容を整理し、知識の定着を図るようにしました。 ●保健の「技能」に関する「実習」ページを設け、技能の習得を図るようにしました。(p.16, 44)
<p>思考力・判断力・表現力の育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各項に「ステップ1」～「ステップ4」の学習活動を設定し、それぞれのステップに応じて、思考力・判断力・表現力を育成することができるようにしました。 ●判型をA4判とし、児童が思考・判断・表現したことを書くための記入スペースを豊富に設けました。(全体) ●「ステップ1」では、児童の生活場面を想起させる写真やイラストをダイナミックに配置し、児童が身近な例から健康課題を見つけることができるようにしました。 ●他教科や、保健の他学年での学習との関連を随所に示すことにより、既存の学びを新たな学びに結びつけて思考する力が身につくようにしました。
<p>学びに向かう力、人間性等への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各項の2ページ目の冒頭で「学習の課題」を明示しました。「ステップ1」の活動を行った後で、「学習の課題」を確認することで、「学習の課題」をより自分のこととして捉えられるようにしました。 ●「ステップ4」では、学習をふまえて自分の生活を見直す活動などを設け、学習したことを実生活で生かせるようにしました。また、ガイドキャラによる次の時間の学習に向けた投げかけの言葉を付し、次の保健の学習に意欲的に取り組むことができるようにしました。 ●章末の「学習をふり返ろう」では、その章の学習を終えて、もっと知りたい、調べたいと思ったことを書く欄を設け、さらなる学びへの意欲を喚起するようにしました。
<p>主体的・対話的で深い学びへの取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●主体的・対話的で深い学びとなるよう各項を「ステップ1」～「ステップ4」で構成し、それぞれの「ステップ」の活動を工夫しました。 ●主発問と児童の思考を促す補助発問を効果的に配置し、スモールステップで指導できるようにしました。 ●児童の気づきを大切に「ステップ1」を行い、問題意識を高めた後で、「学習の課題」を提示することで、より主体的に学習に取り組むことができるようにしました。 ●それまで学習したことをもとに行う「ステップ3」は、「考える」「説明する」「話し合う」「他の人の意見を聞いて、考えたことや分かったことを書く」など、主体的・対話的で深い学びの中心となる活動として位置づけました。
<p>他教科との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「章とびら」では「つなげよう」として、その章の学習内容と他教科との関連を示しました。 ●本文側注欄などでも、随所に他教科との関連を示しました。

今日の健康課題への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●「資料」を各項に設け、今日的な健康課題に対応した情報を豊富に掲載しました。 ●「資料」は児童の発達段階に即して、わかりやすい説明としました。 ●「資料」の一覧を目次ページに掲載し、児童自ら主体的に健康情報を取捨選択することができるようにしました。 ●巻頭に「健康や安全の情報を集めて、学習や生活に生かそう」を設け、児童が生涯にわたって、その時々直面する健康課題に向き合い、解決していくことができるように配慮しました。(p.3)
教育のICT化に伴う取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●学習効果・効率の向上や、実感を伴った理解などを目的として、パソコンやタブレットなどで使用可能なデジタルコンテンツを用意しました。(p.1) ●制度化された学習者用デジタル教科書を発行予定です。ビューアによる色反転や、総ルビなどの機能があり、特別支援教育にも効果的に活用できます。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ●学年別配当漢字に配慮しながら、熟語では、できるだけ交ぜ書きをなくす配慮から、学習当該学年の1学年上の漢字もふりがなつきで使用するようにしました。また、ふりがなは、初出だけでなく必要な漢字全てにつけました。(全体) ●さし絵は、学習事項を的確に表現するとともに、児童にとって親しみやすいものとししました。(全体) ●さし絵や写真では、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないように配慮し、固定的なイメージで性の区別をしないようにしました。(全体)
ユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育に配慮し、紙面の色数を限定し、だれも見やすく、落ち着いたレイアウトとしました。(全体) ●カラーユニバーサルデザインの視点から、全ページの配色や色に関わる表現を点検しました。(全体) ●ステップ1～ステップ4の活動は罫線で囲み、本文と明確に区別しました。(全体) ●余白を生かし、本文と資料、また資料どうしが混同しないように配慮しました。(全体) ●本文などの書体、大きさは、児童の発達段階に配慮して選定しました。全ての文字は、読みやすさに優れたユニバーサルデザイン(UD)フォントを用いました。また、本文では新開発の「UD教科書体」を採用しました。(全体) ●堅牢かつ軽量の紙を使用し、重量による身体的な負担の軽減に努めました。(全体) ●拡大教科書を、文字のポイント別に複数種類発行いたします。

2. 対照表

配当時数計：16

学年	図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
5年	1章 心の健康	(1)ア(ア), (イ), (ウ), イ	4～19	全3時間
	1 心の発達	(1)ア(ア), イ	5～8	1
	2 心と体のつながり	(1)ア(イ), イ	9～12	1
	3 不安やなやみがあるとき	(1)ア(ウ), イ	13～17	1
5年	2章 けがの防止	(2)ア(ア), (イ), イ	20～47	全5時間
	1 事故やけがの原因	(2)ア(ア), イ	21～24	1
	2 学校や地域でのけがの防止	(2)ア(ア), イ	25～28	1
	3 交通事故の防止	(2)ア(ア), イ	29～32	1
	4 犯罪被害の防止	(2)ア(ア), イ	33～36	1
	・自然災害によるけがの防止(発展)	(2)ア(ア), イ)	38～40	—
5 けがの手当	(2)ア(イ), イ	41～45	1	
6年	3章 病気の予防	(3)ア(ア), (イ), (ウ), (エ), (オ), イ	48～79	全8時間
	1 病気の起こり方	(3)ア(ア), イ	49～52	1
	2 感染症の予防	(3)ア(イ), イ	53～56	1
	3 生活習慣病の予防	(3)ア(ウ), イ	57～62	2
	4 喫煙の害と健康	(3)ア(エ), イ	63～66	1
	5 飲酒の害と健康	(3)ア(エ), イ	67～70	1
	6 薬物乱用の害と健康	(3)ア(エ), イ	71～74	1
	7 地域の保健活動	(3)ア(オ), イ	75～78	1

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-69	小学校	体育科	保健	5・6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	保健 501	新しい保健 5・6		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
12	きん張を味方にする方法	2	G 保健 (1)心の健康 ア知識及び技能(イ)	0.75
18	ストレスカレンダーを作ろう	2	G 保健 (1)心の健康 ア知識及び技能(ウ)	0.5
32	自転車安全利用五則	2	G 保健 (2)けがの防止 ア知識及び技能(ア)	0.75
36	インターネットによる 犯罪被害	2	G 保健 (2)けがの防止 ア知識及び技能(ア)	0.75
37	防災安全マップを 作るときの視点	2	G 保健 (2)けがの防止 ア知識及び技能(ア)	0.25
38-39	自然災害によるけがの防止	2	G 保健 (2)けがの防止 ア知識及び技能(ア)	2
40	さまざまな自然災害	2	G 保健 (2)けがの防止 ア知識及び技能(ア)	1
45	熱中症の予防と手当	2	G 保健 (2)けがの防止 ア知識及び技能(イ)	0.5
45	歯のけが	2	G 保健 (2)けがの防止 ア知識及び技能(イ)	0.25
46	胸骨圧迫とAED	2	G 保健 (2)けがの防止 ア知識及び技能(イ)	1
56	インフルエンザ・ 新型インフルエンザ	2	G 保健 (3)病気の予防 ア知識(イ)	0.25
62	がんを予防しよう	2	G 保健 (3)病気の予防 ア知識(ウ)	0.75
66	たばこの主な有害物質	2	G 保健 (3)病気の予防 ア知識(エ)	0.5
66	さまざまな依存症	2	G 保健 (3)病気の予防 ア知識(エ)	0.5
74	医薬品の使い方	2	G 保健 (3)病気の予防 ア知識(エ)	0.75
合 計				10.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容